

地下水保全のための市民アンケート 結果報告書

2024 年 12 月
安曇野市 市民生活部 環境課

はじめに

目 次

基本情報	1
地下水についての意識調査	1
あなた自身について	24

アンケート結果の概要

このアンケートは居住地域・年齢等を考慮して無作為抽出した 20 歳以上の安曇野市民 1500 名を対象に実施し、回答数は 675、回答率は 45.0%でした。

地下水に対する意識 地下水を大切な資源だと思える市民の割合は 99.3%と非常に高いのですが、市の水道水が 100%地下水であることを知っている市民は 43.9%と半分以上でした。地下水に関する心配事として、水位低下と地下水減少を挙げる市民が全体の半分以上います。

地下水保全への取り組み 取り組みが必要とする市民は 99.3%で、市民・企業・行政の全員が主体的に取り組むべきと考える割合が 71.9%と高くなっています。また、行政に期待する施策としては、条例の適正な運用、効果的な涵養方法の調査研究が挙げられています。

節水 節水は、89.9%の家庭が取り組んでおり、方法としては風呂水の再利用や節水器具の使用が上位でした。

この報告書について

- 1 本書は、安曇野市市民生活部環境課が令和 6（2024）年度に実施した、「地下水保全のための市民アンケート」結果を集計した報告書です。
- 2 本アンケートは、令和 6（2024）年 9 月 17 日～10 月 31 日に、居住地域・年齢等を考慮して無作為抽出した 20 歳以上の安曇野市民 1500 名（令和 6（2024）年 9 月 1 日現在）を対象に実施しました。環境課では、これまでに同様のアンケートを平成 23（2011）年度、令和元（2019）年度に実施しています。
- 3 本アンケートでは、用紙回答とウェブ回答の方法を併用しました。
- 4 本アンケートの個別の設問の集計では、無効な回答を不算入としました。このため、それぞれの質問の標本数は「N=〇」と記載しています。（ただし、Q14～17 は無回答も集計の対象としています。）
- 5 本書掲載の「割合」は、小数点以下第 4 位を四捨五入したうえで％で表示しています。
- 6 本書では、過去 2 回のアンケート結果を使用して比較や推移を示した図表も作成しました。この際、過去のデータでも無効な回答を不算入としてあります。
- 7 自由記述は基本的に回答のとおり掲載しましたが、明らかな誤字などは修正しました。また、設問への回答ではないと判断できる記述は掲載していないものもあります。

基本情報

送付数と回答数

回答期間 2024 年 9 月 17 日～10 月 31 日

20 歳以上の人口（2024 年 9 月 1 日時点） 79,234 人

送付数	1500
提出数	675
有効回答数	675
回答率	45.0%

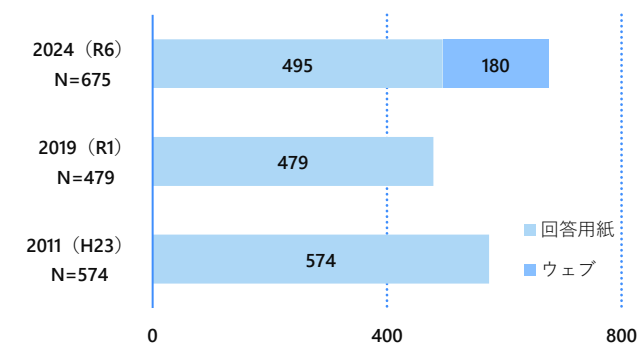
回答方法

項目	回答数	割合
回答用紙	495	73.3%
ウェブ	180	26.7%
合計	675	100.0%

くらべる！

各回とも市民 1500 名を無作為抽出

実施年度	回答用紙	ウェブ	合計	回答率
平成 23 年度	574	—	574	38.3%
令和元年度	479	—	479	31.9%
令和 6 年度	495	180	675	45.0%

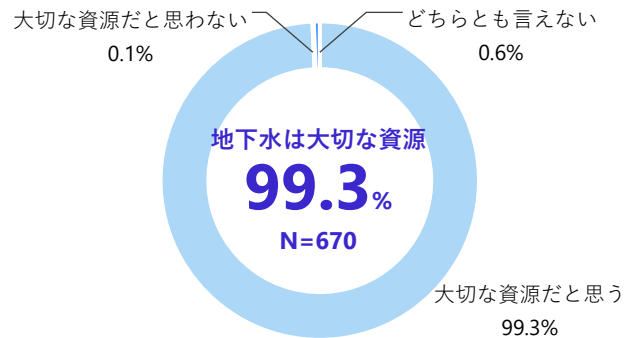


回答数の比較

地下水についての意識調査

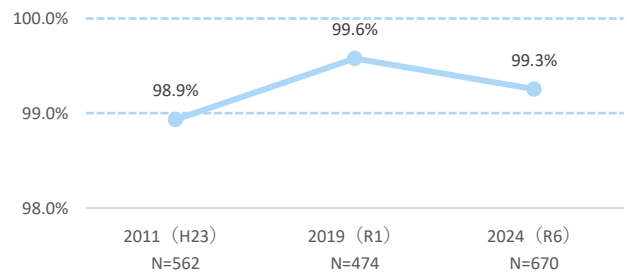
Q1 【1 つだけ選択】安曇野市にとって、地下水は大切な資源だと思いますか？

項目	回答数	割合
1 大切な資源だと思う	665	99.3%
2 大切な資源だと思わない	1	0.1%
3 どちらとも言えない	4	0.6%
合計	670	100.0%



地下水を大切な資源だと思う人の割合

くらべる！



地下水を大切な資源だと思う人の割合の推移

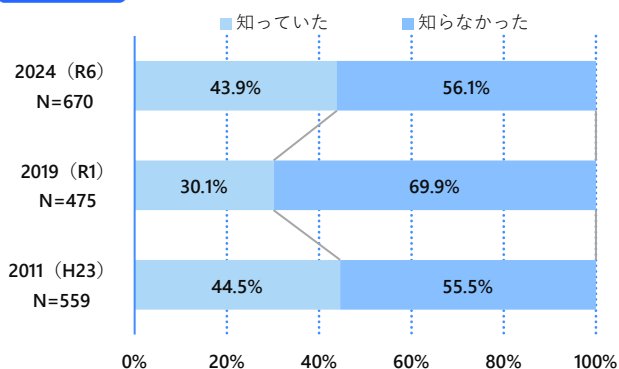
Q2【1つだけ選択】安曇野市の水道水は100%地下水であることを知っていましたか？

項目	回答数	割合
1 知っていた	294	43.9%
2 知らなかった	376	56.1%
合 計	670	100.0%



水道水が100%地下水であると知っている人

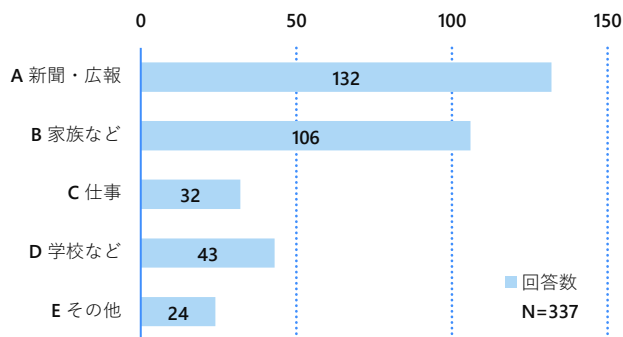
くらべる！



水道水が100%地下水であると知っている人の推移

(知っていた人のみ)【複数回答可】どうやって知りましたか？

項目	回答数	割合
A 新聞・広報	132	39.2%
B 家族など	106	31.5%
C 仕事	32	9.5%
D 学校など	43	12.8%
E その他	24	7.1%
合 計	337	100.0%



水道水が100%地下水であることを知った方法

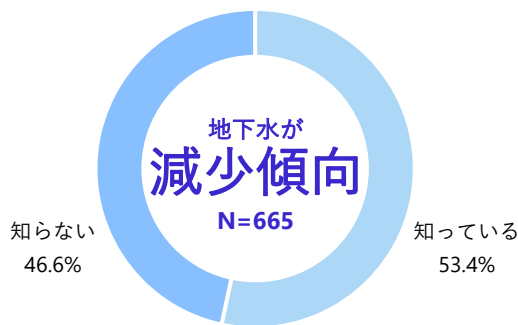
【E その他】

- ・水道局で話をききました
- ・住居が黒沢水源から地下水に変わった時
- ・区長会で
- ・人混みの中で誰かが話しているのを聞いた。
- ・子ども達が小学校で教えてもらって伝え聞いた。
- ・市役所の情報から
- ・なんとなく知っていた。近くにアルプスがあるから？
- ・高家に上水道の施設があるから
- ・浄水場がないので
- ・子どもの頃から知っていた
- ・ネット
- ・何となく（古いことで、どういう方法で知ったか覚えていない
- ・三郷地区のみだと認識
- ・ネット情報
- ・常識
- ・市のホームページで

- ・水の専門家、桂川雅信先生、都留文化大学内山美恵子教授
- ・趣味でアクアリウムをやっていて、水道水の pH が通常よりかなり低いので、水源について調べたから
- ・具体的には覚えていないが聞いたことがある
- ・子どもの調べもので知った
- ・各地区に水源井戸があることから

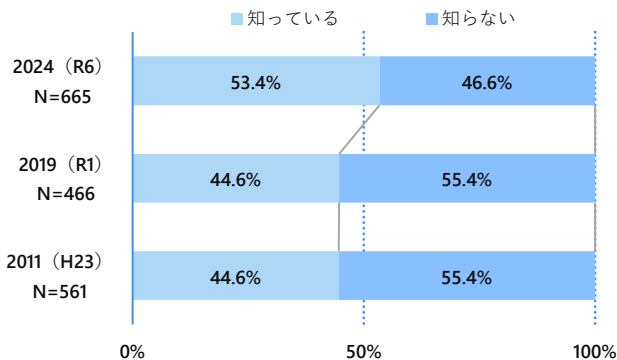
Q3【1つだけ選択】安曇野市の地下水や湧き水の量が、長期的には減少傾向にあることを知っていますか？

項 目	回答数	割 合
1 知っている	355	53.4%
2 知らない	310	46.6%
合 計	665	100.0%



地下水が減少傾向にあることを知っている人

くらべる！

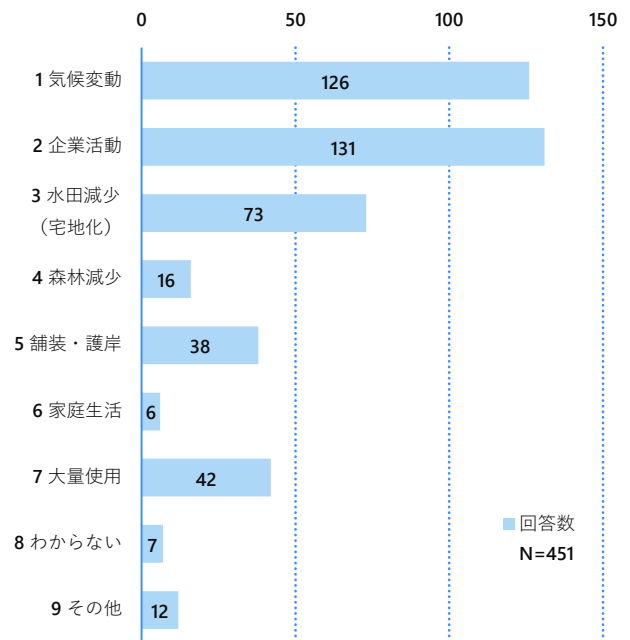


地下水が減少傾向にあることを知っている人の推移

（知っている人のみ）地下水の減少にはいくつかの原因が考えられますが、あなたが知っている地下水減少の理由は何ですか？

この設問は自由記述のため、記述内容を類型化して集計しました。

項 目	回答数	割 合
1 気候変動	126	27.9%
2 企業活動	131	29.0%
3 水田減少（宅地化）	73	16.2%
4 森林減少	16	3.5%
5 舗装・護岸	38	8.4%
6 家庭生活	6	1.3%
7 大量使用	42	9.3%
8 わからない	7	1.6%
9 その他	12	2.7%
合 計	451	100.0%



あなたが知っている地下水減少の理由

【自由記述】

- ・ 気象状況による変化、地球温暖化。
- ・ 無制限に大切に使用しなかった。
- ・ 工場の地下水利用
- ・ 休耕田の増加、降雪量の減少があると思います。
- ・ 温暖化による雪不足や、企業による水の汲み上げ等が考えられます。
- ・ 自然環境の変化と企業が商業目的で大量の地下水を吸上げる為ではないかと思う。
- ・ 気候の変化、森林伐採など。
- ・ コンクリートが増え浸透しにくい。
- ・ 企業が汲み上げている。水田がへっている。
- ・ 用水路のコンクリート化
- ・ 近隣に水に関わる企業が設立されたため。感染症が続いているため、仕事上、洗濯回数が増えたこと。休耕田や遊休地が増えたため。天候異変。
- ・ 温暖化による影響。水田の減少。家庭での使用量が昔とは違うこと。ミネラルウォーターの工場などができたことも不安です。
- ・ 田んぼの減少
- ・ 気候の変化
- ・ 有効利用ではあると思うが汲み上げる量が多すぎるのだと思う。
- ・ 昔に比べると雪が降らなかったり、土地を売って家がどんどん迫ってくることもありかと。地下水を利用する企業が増えたことも。
- ・ 営業目的による取水が多いのではないかと。
- ・ 田の水はり、企業のくみ上げ。
- ・ 降雪の減少、地表から蒸発等とありますが安曇野の水として飲料水や工場用水として汲み上げすぎているのではないかと思う。
- ・ 使いすぎ（無限資源と思っている。）。地下浸透しない。農地（水田等）の減少。温暖化。
- ・ 降雪量の減少、田んぼの減少、工場などでの大量のくみ上げ。
- ・ アルプスに雪が少なくなっている。
- ・ 降水量が少ない。
- ・ 過剰な汲み取り、特にわさび田。
- ・ みどりが（自然）減っている。水を使う大きな工場が増えた。
- ・ 地球温暖化により豪雨の頻度が増加しているために、地下に浸透する前に川に流れてしまうため。水田などの作付面積が減少しているから。
- ・ 水田の減少によって貯水能力が衰えてきている（農家の後継者不足）。企業による地下水の汲み上げ（飲料水として販売）→正確なデータは？
- ・ 事業用に使うから
- ・ 休耕田、企業の水利用、北アルプス積雪量の減少。
- ・ 企業の地下水のくみ上げ
- ・ 温暖化の影響で山の土の保水力が弱まり雪どけの速度が速くなり1度に流れていってしまうため。
- ・ 農地の減少、平地の樹木の減少。
- ・ 企業によるペットボトル事業
- ・ 水田の減少と水路のコンクリート化
- ・ 工場などで飲用水として大量に地下水を汲み上げているからだと思います。
- ・ 浸透が出来ず流れてしまう→貯水施設方法
- ・ 事業用が原因の1つではないかと聞いた事がある。
- ・ 気候の変動で雪の量とかが少ないと言う事も一つと思います。
- ・ 事業用の揚水量が多いのではないかと不安になります。
- ・ 1)減反等による水田の減少・舗装された地面の増加などで水の地下浸透の減少。2)生活用水・工業用水及びミネラルウォーター等での水使用の増加。
- ・ 河川を U 字溝に変えたことで水の浸透が減った事。降雨量が減って来ていること。コンクリートでおおわれる所がふえていること。
- ・ 気候変動、大量の地下水のくみ上げ。
- ・ 無秩序に飲料水メーカーを誘致したツケが回った。
- ・ 降雪量が減っている。
- ・ 大量の地下水利用
- ・ 地下水利用量の増加、降水量減少。
- ・ 降雪量の減少、飲料水のくみ取り。
- ・ 地下水が減っているのは知っていますが、理由までは知りません。
- ・ 工場の増加、大型スーパーの増加。
- ・ 降水量（雪など）の減少、使用量の増加。
- ・ 気候変動による。
- ・ 降雪量の減少

- ・降雪量の減少。
- ・降雪量の減少、地下水の汲上げ量の増加、減反。
- ・積雪量の減少、水道・事業用の水採取量増加、水田の減少。
- ・田んぼが減少していること。水を使った産業が増えていること。（飲料水として）
- ・1. 水田の宅地化と田園地帯の駐車場・道路のアスファルト化による伏流水の減少。2. 雨雲や雪雲が西山の山脈を越えてこず、雨雪の量が減っている。3. 地下水をくみ上げている企業。
- ・飲料用の工場が多くなってきたこと。
- ・近年は雨や雪が少ないのと、飲料用の水の会社が増えているので、減少しているのではと思います。
- ・利用水量の増、水路護岸工事によるかん養の減等
- ・水をすい上げる会社が来ている。ここ何年かアルプスに雪の量が少ない。
- ・水田の減少。砂防ダム等により土砂収支がマイナスとなり、河床低下が起きている事。地下水利用の発達。
- ・地下水を利用する企業が多い。
- ・冬期降雪量の減少
- ・水田面積の減少。気候変動による降水量減少。地下水利用の増大。都市化。
- ・宅地化等による農地の減少。飲料水等の企業進出による地下水のくみ上げ。
- ・水資源を取り扱う会社外天候不順に備えること
- ・地球温暖化のため冬山や里に雪がふらない。アルプスの山に雪がふっても温暖化のため早くとけてしまう。家の近くで工業団地、住宅団地ができ水田が少なくなっている。
- ・降雪量が少ない。企業が汲みあげ過ぎる。
- ・宅地化の進展、水田の転用作付（麦・豆他）地（放棄地含む）、地下水利用事業者。
- ・降雨量の減少、飲料水会社の地下水の汲み上。
- ・雪が降らない
- ・地球温暖化など自然環境の変化
- ・降雪量の減少
- ・山の積雪減少、地下水の過大汲み上げ（企業等）、浸透地の減少。
- ・水の量が減少は産業や観光に多大の量を使用しているためであるのでは。
- ・深井戸による揚水（工場等も含む）
- ・降水量が少ない（雪）
- ・農地が減って家が建ち広い駐車場等、コンクリート、アスファルト使用のせいかも？
- ・工業用としてのくみ上げ過ぎ。
- ・地下水を商売にする会社が増えた。地面の舗装が増えた。気候の変化。
- ・近年お米を作る農家が減り、田んぼの利用が少なくなり、田んぼに水が入らなくなったので。
- ・地下水のくみ上げ
- ・わさびの成長が良くないと聞きました。
- ・降雪量の減少、水田の減少、工業用水の揚水量の増。
- ・温暖化、企業による汲み上げ
- ・地下水をくみ上げて売っている会社は何社かあるので減ってしまっている。
- ・山林等の伐採が多過ぎ。植林が追いついていないため水分の保全ができない。
- ・温暖化による高山帯の降雪量の減少。市街地化によるアスファルト舗装、排水路の整備。減反による水田のかんがい面積の減少。
- ・水を売っている会社が、たくさん水をくみ上げているため
- ・水路のU字溝化による地下浸透水の減少
- ・ペットボトル用に汲み上げ商品として売っている。工業用水に活用している。
- ・水の貯水する所が少ない。山が高く急流で水がながれて行く。
- ・田・畑を作らなくなったから。
- ・冬雪が降らない。雨量が少ない。
- ・工場での利用（工業用、飲料水の生産用など）
- ・農地の減少、工業用水としての使用。
- ・温暖化と降雨量の減少が帰因か？
- ・事業用 etc.の使用増。気候変動による雨水減。
- ・田畑の宅地化が進み、地下に水がしみ込む量が、総体的に減少しているのも一因ではないか。
- ・飲料用水としてくみあげるから。
- ・降水量がへっている。
- ・温暖化による降雨、降雪の減少。企業活動における利用増加。
- ・降雪量の減少（特に北アルプス山沿い）。事業用地下

水使用量の増加。

- ・ 気象の変化
- ・ 河川のコンクリート化
- ・ 温暖化
- ・ 農業の継承者不足で農地が荒廃か住宅地になっている。
- ・ 雪が降らなくなったため。
- ・ 宅地の拡大
- ・ 大手の企業が地下水をたくさんくみ上げて利益を求める方向に行っているから。
- ・ 稲作の減少
- ・ タンボにみずをイレるため。
- ・ 地球温暖化により降雪量が減り雪解け水が減少している。
- ・ 近所の方々が話していた。たぶん雨の減少と雪の減少。温暖化。
- ・ ミネラルウォーター工場の大量使用、その他工場による工業用水としての使用、雪不足による地下水減少。
- ・ 近年、温暖化の影響で冬場に雪が降らなくなってきているので、雪どけ水などが地下にたまらなくなってきている。
- ・ 田んぼの減少。宅地増。
- ・ 土地活用の変化、宅地化、道路などコンクリートなどふえている、自然環境の変化、温暖化、雨のふり方の変化、くみあげる量、企業要因もあるのか？
- ・ 農地の宅地化。数年前に引っ越してきましたが、以前住んでいた所より新しい土地に住宅がいっぱい作られている様に思われます。
- ・ 地下水の取水が過大である。
- ・ 温暖化で山の雪が少ない。土の道路がなくなった。
- ・ 冬の降雪量が減っている。側溝が U 字溝になったため。
- ・ 地下水汲み上げの増加。温暖化による冬季降雪の減少。開発による林地の減少。
- ・ 飲料メーカーの過剰な地下水のくみ上げ。わさび田での栽培における地下水の大量利用（水を流している）。農家の高齢化などで休耕田が増えている。
- ・ 地球温暖化（雨や雪が降らない）。業者の地下水のくみあげ（これはいけない事だと思います。）
- ・ 異常気象による降雨、降雪の減少。開発による（土地

の）水脈の変化。

- ・ 降水量の減少、企業による地下水利用増
- ・ 雨が少ないから
- ・ 水の工場が増えたため？
- ・ 地球温暖化
- ・ 商業・農業（ハウス）利用の拡大、水販売の拡大
- ・ 森林の荒廃
- ・ 工業用水、道路舗装
- ・ 休耕田の増加
- ・ 水工場などが出来た。
- ・ 今話題の天然水の需要が大な為、工場や病院・各施設で大量に使う為
- ・ 降雪量の減少
- ・ 温暖化により降雪量の減少
- ・ 地球温暖化で残雪が少ない
- ・ 企業や家庭での使用量がふえているため温暖化も影響があるのかな？
- ・ 自然の減少→構造物の激増によるもの
- ・ 地下水のくみ上げ量の増加（ミネラルウォーターの販売や水を使った事業者の増加）
- ・ 地面のコンクリート、アスファルト化、田の減少
- ・ 地下水をとる会社が多い
- ・ 雨量が少ない、気温の変化、使う量が多い
- ・ 事業者の増加
- ・ 水田の減少
- ・ さまざまな大きな工事等で地下水路が断絶されてしまっている。地下水のくみ上げによって減っている。
- ・ 冬場の雪の少なさ。地下水の汲み上げ。
- ・ 農地の減少
- ・ 住宅の増加
- ・ 汲み上げすぎ
- ・ 1. 水田の減少、2. 企業のくみ上げ
- ・ 地面がアスファルトでおおわれて地下にしみこむ分が減った。工業用にくみ上げられているから。水田が減った。
- ・ 雨、雪の量、積が少くない為
- ・ 下水道が発達して地下に水がしみ込むのが少なくなったから。あと山の雪が少なくなった。
- ・ 全世界的にもそうであるし、企業での地下水のくみあげ等がふえているように感じている

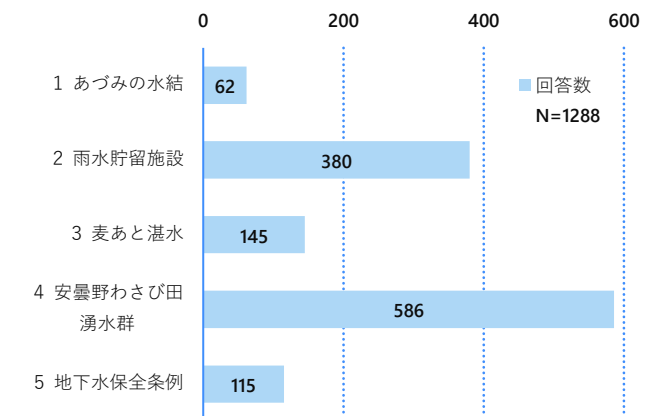
- ・水を販売する業者がほぼ無制限に汲み取っている
- ・工場等による地下水利用
- ・地下水の汲み上げが自然供給を超えている。降水が地下へと浸透しなくなった。
- ・夏の暑さや企業による地下水のくみ上げなどかと思っています。
- ・森林の減少と気候の温暖化
- ・大手メーカーなど飲料水として販売目的でくみ上げているから。地球温暖化で積雪が少なく、山からの雪どけ水が減少。
- ・降水量の減
- ・1. 雪が少なくなっている。2. ミネラルウォーターに使用しすぎ。
- ・理由までは知らない。
- ・地球温暖化により山に雪が以前より積もらなくなっている。そのため地下水も少なくなっている。
- ・気候変動による雪の減少や工場などによるくみ上げの増加があると思う
- ・水田が減少しているため。
- ・水道用ばかりでなく企業のくみ上げが大きい
- ・大きな工場での地下水大量汲み上げ、農地の宅地転用
- ・地球温暖化？
- ・事業用が3分の1の使用量であると資料に載っていたが、水の会社が大きくなって行くのをみると地下水が減少するのも、もっともだと思います。
- ・減反によるもの
- ・新聞、ニュース、あづみの新聞
- ・地下水のくみ上げ
- ・地下水の汲み上げによるもの
- ・休耕田が多くなっていると思います。
- ・地震による地質状況の変化
- ・地下水を大量に使っている企業などがあるのではないかな？
- ・東京からの企業の誘致で地下水を必要以上に使用して商品にしているから。
- ・工場くみ上げ
- ・近年の気象変化によるもの。
- ・使用量の増加（企業など）？気候の変化（降水量の減少、降雪量の減少、温暖化）？
- ・田畑の減少、降水量（雪）の減少、使用量の増加、森林整備不足
- ・気象の変化
- ・住宅の増加、人口増
- ・工業等による地下水の汲み上げ利用が増加しているため。田んぼでの水稲作付が減少し地下水の保持が減水している。
- ・最近、近村市で穂高は二ヶ所で地下水清りょう水工場がえいきょう。田んぼが少なくなった。土地をあらす。木を切る。
- ・地球の温暖があると思います。年々暑くなっているため水が減少してきていると思います。
- ・地下水を大量に使っていること。
- ・使用量の増加
- ・道路の舗装、河川のU字溝、減反による稲作より畑の国や県の政策による田んぼへの水の取り入れがなくなる。
- ・森林の管理不足、農地の減（宅地化増）、天候等の環境変化、事業者の大量使用増
- ・温暖化により雪の降水量の減少
- ・最も上流で工場群が只で吸い上げて思うまま豊富に使用している
- ・工場・業者による無断くみ上げ
- ・無駄な水を使わない。各会社工場でも水を大量に使わないこと。個人としては二日に1回の風呂の水くらいです。現在のうちの田は農協へ委託してありますから分りません。
- ・理由は分らない。
- ・森林の整備ができず、荒廃（山が）してしまい、地下水も少なくなってしまう。
- ・本市のみでは無く、世界中が直面する課題、汲上量＞貯水量
- ・山に降る雪が少ない。水田を転作して水を張らない。工場等が水をくみ上げる。
- ・降水量の変化（減少）、企業などによる地下水の利用（汲み上げ）、用水路コンクリート製品化・アスファルト舗装などによる雨水や用水の地下浸透の減少、河川の河床低下による地下水位の低下や伏流水の減少
- ・温暖化による積雪の減少
- ・地球温暖化による降水量の減少や、高齢化による田畑の減少。

- ・工場での汲み上げ
- ・使い過ぎ
- ・森林の減少と水の使い過ぎ。雨の降り方の変化（集中豪雨）
- ・田んぼの耕作が減少
- ・揚水量の増加
- ・原因はよく分かっていないと記憶がある
- ・道路のアスファルト、コンクリート化、降雪、雨量の減少
- ・農地の減少
- ・水の利用量の増加
- ・気候変動
- ・降雪が減ったこと。必要以上の地下水汲み上げ。
- ・田んぼが減って宅地が増えて、水の使用量が増えたから。ゲリラ豪雨など、雨水がしみ込む前に流れてしまうから。
- ・少雪 少雨 豪雨 地下水の過剰汲み上げ 宅地開発 等
- ・田んぼの減少、アスファルトの道の増加、地下水の汲み上げすぎ、規制がない水の工場も汲み上げている。大町の方面の汲み上げが安曇野にも影響があるのではないか心配。
- ・水田の減少や商業用地下水の汲み上げによる
- ・地下水の汲み上げすぎ。飲料水メーカーがミネラルウォーターとして汲み上げ過ぎている
- ・知らない
- ・水脈の変化
- ・ゲリラ豪雨のような集中的な雨が多く、地下に浸透する前に水が流れてしまっている。また、道路の舗装、排水溝の整備により地中に雨水が浸透しにくい状況になっている。
- ・気温上昇による降雪量減少、企業による採水
- ・地下水を大量に使用する企業
- ・温暖化による雨、雪不足
- ・地下水源の使用量が増加しているから。
- ・水をつかう量が増えたから
- ・産業用の地下水のくみ取りが増加している。
- ・埋め立てなど？
- ・企業の水の汲み上げ
- ・降雪量の減少
- ・水田の減少、工場利用など考えられるが、明確ではない。
- ・ミネラルウォーターの搾取、雪不足
- ・水道使用量、水工場など地下水利用の増加、稲作の減少
- ・気象の変化や企業などによる地下水利用のため
- ・土地の変化
- ・企業等の活用量の増加、温暖化による降雪量の低下
- ・水田の減少、施設、工場等の水の汲み上げ
- ・水田の現象、工業的汲み上げの増加
- ・企業がミネラルウォーターとして地下水を汲み上げているから
- ・気候の変化、雨(雪)の降る時期、雨量の変化。
- ・天候異常
- ・事業用としての汲み上げ利用。田の減少。温暖化による蒸発量の上昇。コンクリートの道が増えることで地下への浸透が減り、地上での消失量の増加が起こる。
- ・大規模な地下水汲み上げ
- ・工場や飲料水の利用が昔より増えた
- ・田園減少、舗装による雨水浸透減少、業者の汲み上げ販売、山林の落葉樹減少によるスポンジ効果の減少、気候変動でしとしと雨の減少
- ・大手水販売会社等による採水
- ・水田の減少。地下水利用の増加。
- ・温暖化
- ・冬の降雪量が少ない
- ・製品化された飲料水としての汲み上げ量が増えた。田んぼや畑が減り宅地化。アスファルト舗装など。
- ・水を販売する大手企業を、市が受け入れたから。
- ・地球温暖化に因る地形上流での降雪量の減少。地面のアスファルト化による地下浸透の減少。稲作等の制限に因る圃場の水張減少。
- ・冬季の雪の減少や地下水を汲み上げ販売している企業が要因となっているかも知れません。
- ・環境破壊
- ・汲み上げ
- ・工場による採集。水脈の変化。
- ・限りある資源だとあまり意識せず、水の使い過ぎが原因。また、雪などがあまり降らなくなり、地下に浸透する量が減っている。

- ・理由までは知らない、気にしてなかった
- ・産業用に多く使用しているので
- ・企業が地下水をとって売っている。水田の減少。
- ・環境の変化、水の使い過ぎ
- ・住宅の増加
- ・降雪量の減少や飲料メーカー等の汲み上げ
- ・水の汲み上げ。水田の減少。
- ・水田の減少、アスファルトの増加、ゲリラ豪雨
- ・山の降雨量の減少。工業や水販売会社等のポンプ揚水の増加。
- ・飲料水企業による地下水の汲み上げ。舗装による雨水の浸透の減少。降雪量の減少による地下水の減少。
- ・ミネラルウォーター製造事業者
- ・環境の変化による原因
- ・安曇野の湧き水の大量製品化、毎日生産所からの製品搬出の大型トラックを沢山見る。
- ・雪解け水の減少と使用量の増加
- ・地下水の汲み上げ過ぎ
- ・工場での採水、降雪量の減少、温暖化による冬季の残雪の減少
- ・降雪の減少、稲作の減少
- ・人口の増加や、生活に使う水が増えてきた事。全国的に、美味しい水と知ってもらえるのは嬉しいが、商品として売られてる事。
- ・コンクリートで覆われている箇所が増え、雨が浸透する箇所の減少。森林整備の不備により山の生体系の変化。工業用水汲み上げ。
- ・わからない
- ・降雪量の減少
- ・減少理由かは分かりませんが、近年、地下水を汲み上げ[安曇野の水]としてかなりの量が汲み上げられており、一つの原因ではないかと思う
- ・降雪量が少なくなってるから
- ・大企業の取水。
- ・家庭用、工場での水の使用量が多い。下水道が整備されて使用量が多くなった。道路が舗装され、宅地が多くなった。
- ・周辺の日々（北アルプスなど）の積雪量の大幅な減少
- ・温暖化の影響、地下水を使った企業の進出
- ・企業による地下水汲み上げがおおきい

Q4【複数選択可】次のうち、少しでも知っている事柄をすべて答えてください。

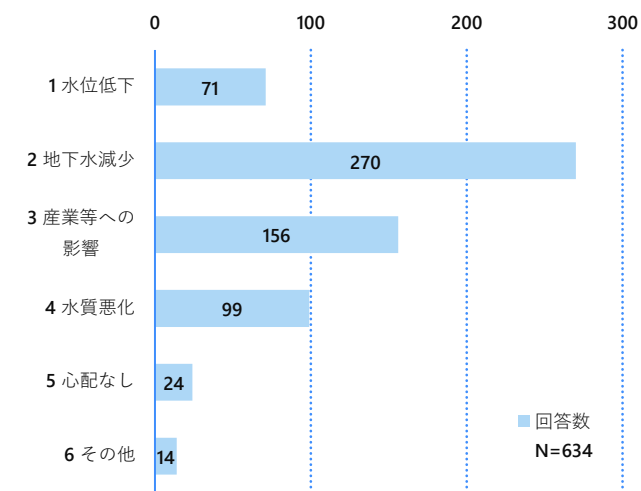
項 目	回答数	割 合
1 あづみの水結	62	4.8%
2 雨水貯留施設	380	29.5%
3 麦あと湛水	145	11.3%
4 安曇野わさび田湧水群	586	45.5%
5 地下水保全条例	115	8.9%
合 計	1288	100.0%



取り組みの認知度

Q5【1つだけ選択】地下水に関して、心配に思うことはありますか？

項 目	回答数	割 合
1 地下水位が低下して井戸が枯渇してしまうのではないかな	71	11.2%
2 大量の地下水利用が、地下水減少に影響があるのではないかな	270	42.6%
3 湧き水の減少がワサビ栽培などの産業や観光に影響があるのではないかな	156	24.6%
4 水質が悪化しているのではないかな	99	15.6%
5 心配に思っていることはない	24	3.8%
6 その他	14	2.2%
合 計	634	100.0%

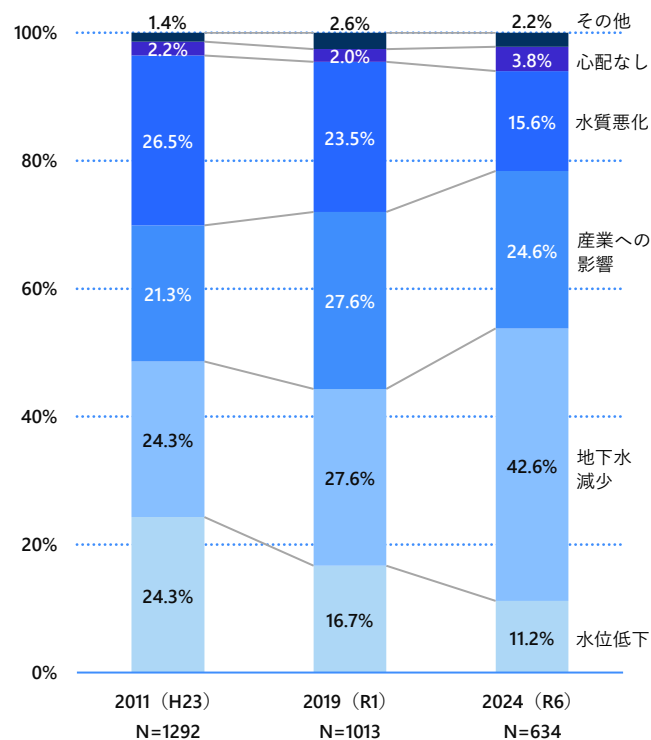


心配に思うこと

【6 その他】

- ・松糸道路建設にともなう地下水の水質悪化
- ・ワサビ産業ばかりでは無く水を必要としている企業全部。
- ・外国勢力による搾取
- ・ウィータープラントと地域との共存
- ・化学物質による汚染、柔軟剤等生活用品や農薬、化学肥料、畜産廃棄物
- ・今までの政策でやってきたことを今さら昔のようにはならないから
- ・かんがえたことがない
- ・外国資本による地下水資源の買収
- ・他の地域で見られる外国人による地下水源の買収
- ・水道水の減少
- ・外国人の土地買収による水源確保
- ・地盤沈下
- ・最近ニュースで聞くようになった PFAS の含有量が気になります
- ・考えた事が無い

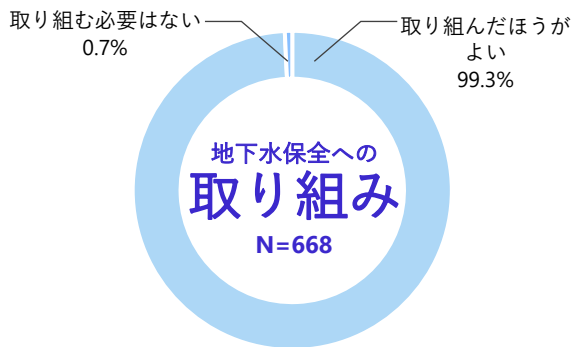
くらべる！



心配に思うことの割合の推移

Q6【1つだけ選択】市民・企業・行政は、地下水の保全（地下水を増やす・減らさない対策、地下水を使いすぎない仕組みづくり）に取り組むべきだと思いますか？

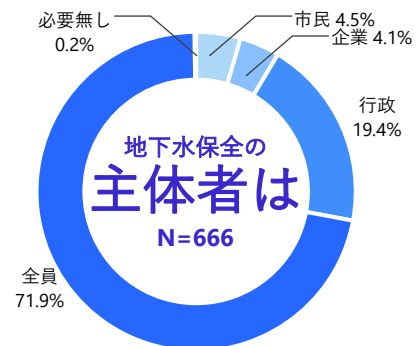
項 目	回答数	割 合
1 取り組んだ方がよい	663	99.3%
2 取り組む必要はない	5	0.7%
合 計	668	100.0%



地下水保全への取り組み意識

Q7【1つだけ選択】地下水保全は誰が最も主体的に取り組むのがよいと思いますか？

項 目	回答数	割 合
1 市民	30	4.5%
2 企業	27	4.1%
3 行政	129	19.4%
4 市民・企業・行政の全員	479	71.9%
5 必要なし	1	0.2%
合 計	666	100.0%

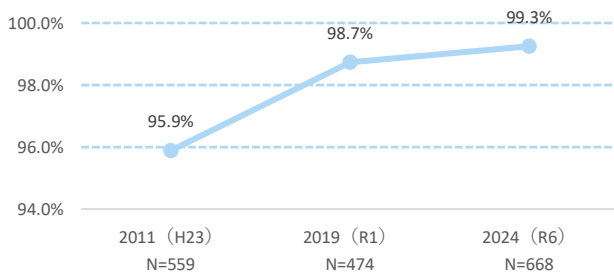


地下水保全の取り組み主体の意識

【2 取り組む必要はない理由】

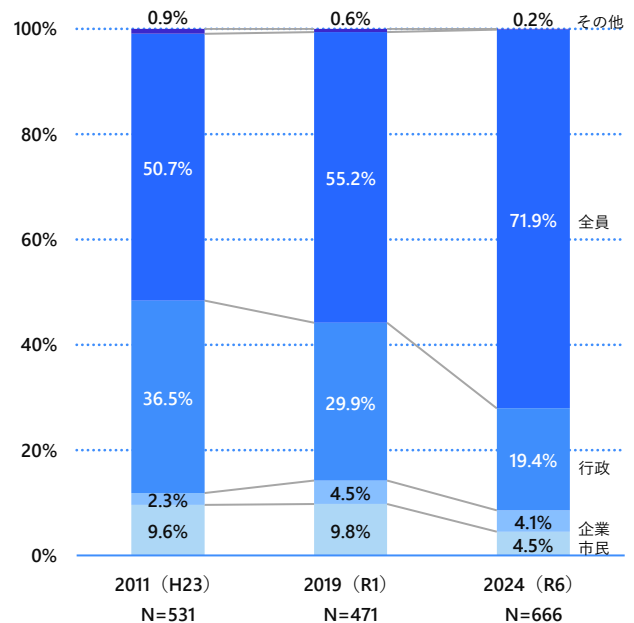
- ・企業は取り組んだ方がよいと思います。
- ・取り組みによって日常生活に支障をきたす可能性もあると思う。（水道料金の値上げや行政サービスの低下など）
- ・トイレに雨水を使用したら良い
- ・今までたいしたことはやってこないから。稲作から畑作にやれやれと言われてやってきたから。他にも思うことはたくさんある。

くらべる！



地下水保全が必要だという人の割合の推移

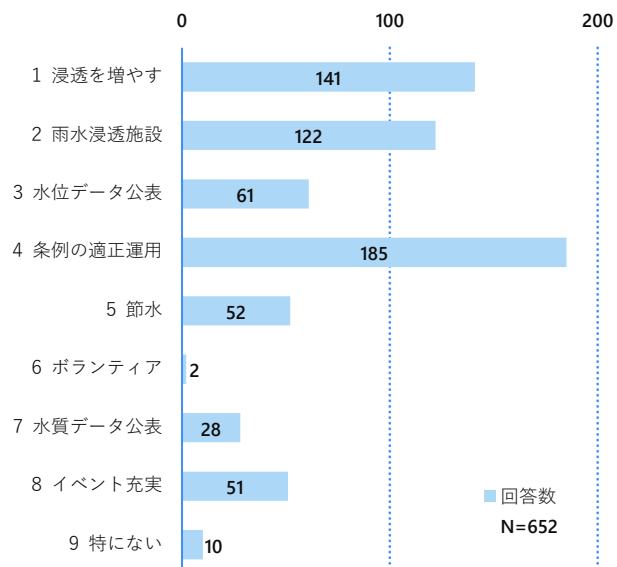
くらべる！



地下水保全への取り組み意識の割合の推移

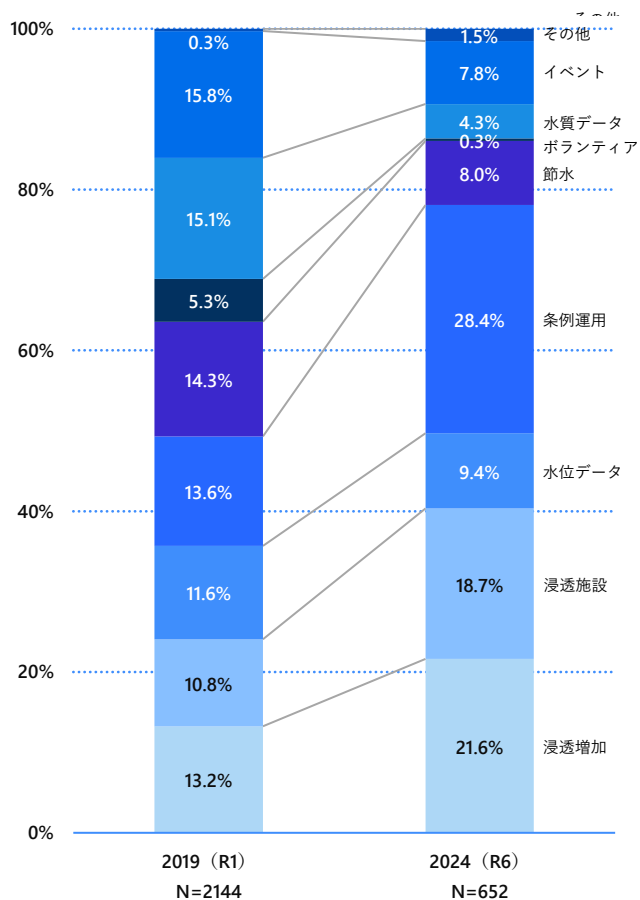
Q8【1つだけ選択】地下水保全のためにこれまで行ってきた次の取り組みのうち、今後も継続するとよいと思うものはどれですか？

項 目	回答数	割 合
1 休耕田などに水を入れることで、地下に浸透する水量を増やす取り組み	141	21.6%
2 雨水を地下に浸透させる施設（道路の透水性舗装等）の設置	122	18.7%
3 地下水の水位に関するデータの公表	61	9.4%
4 地下水採取に関わる届出や規制などに関わる地下水保全条例の適正な運用	185	28.4%
5 水道設備への節水器具の設置や日頃の心がけによる節水の取り組み	52	8.0%
6 家庭用井戸で水位測定をするボランティア制度	2	0.3%
7 地下水の水質に関するデータの公表	28	4.3%
8 学校での地下水学習や市民向けのイベント開催などを充実させる	51	7.8%
9 特にない	10	1.5%
合 計	652	100.0%



継続したほうがよい取り組み

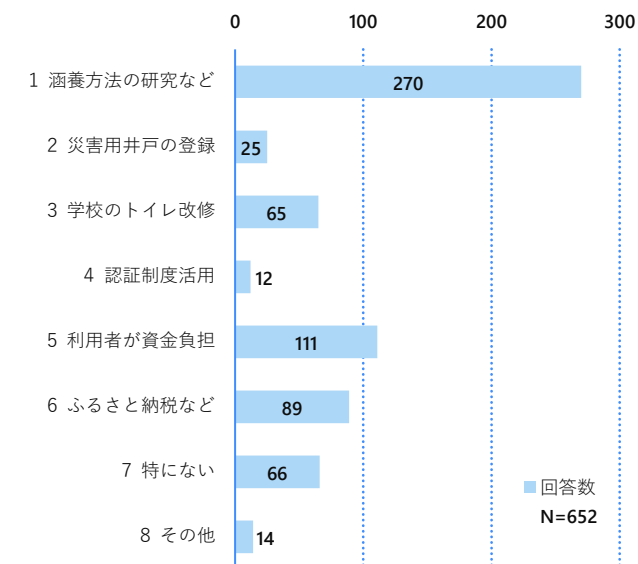
くらべる！



継続したほうがよい取り組みの推移
(H23は調査なし、R1は複数回答)

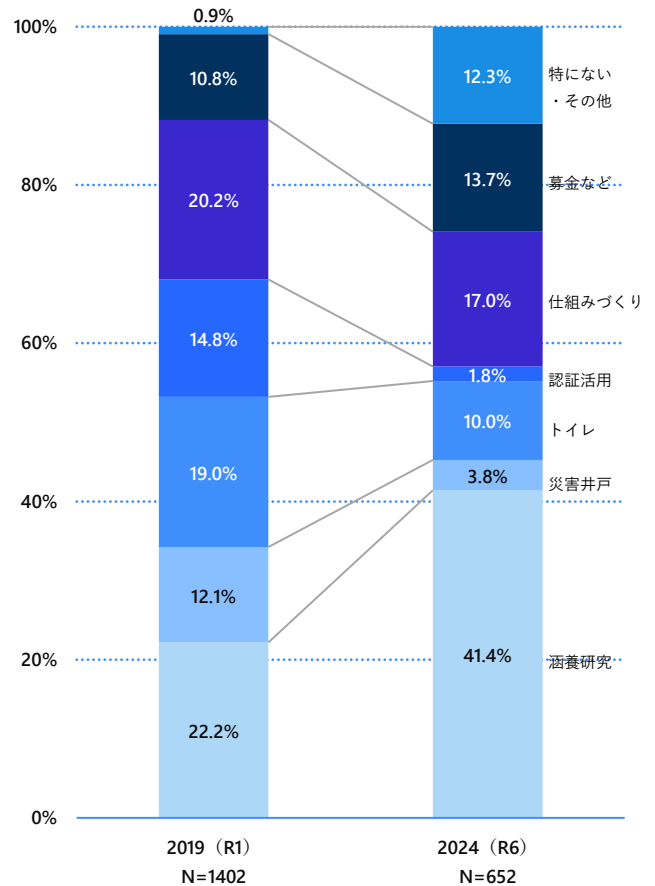
Q9【1つだけ選択】地下水保全のため、新たに進めたほうがよいと思う取り組みはどれですか？

項目	回答数	割合
1 効果的な涵養方法を調査研究し、地下水を利用する企業などがその成果を活用して地下水保全を行う	270	41.4%
2 家庭用井戸を、非常時の災害用井戸として登録する	25	3.8%
3 小・中学校などの和式トイレを節水型の洋式トイレへ改修する	65	10.0%
4 水環境保全に関わる活動や製品に対する認証制度（ロゴマークなど）を活用する	12	1.8%
5 地下水保全（涵養や水源となる森林保護など）のための資金を、地下水利用者が負担する仕組みづくり	111	17.0%
6 地下水保全（涵養や水源となる森林保護など）のための資金を、ふるさと納税や募金とする取り組みの推進	89	13.7%
7 特にない、わからない	66	10.1%
8 その他	14	2.1%
合 計	652	100.0%



新たに進めたほうがよい取り組み

くらべる！



新たに進めたほうがよい取り組みの推移（H23 は調査なし、R1 は複数回答）

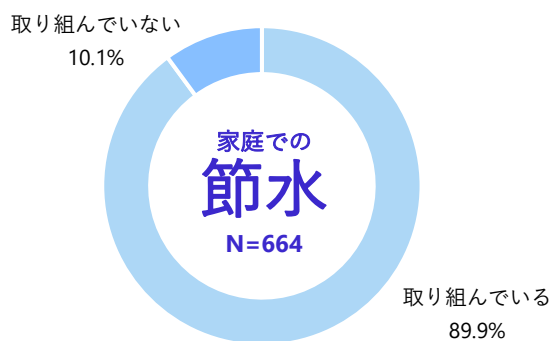
【8 その他】

- ・地下水活用の規制、企業への利用制限
- ・尻無川を利用したかん養
- ・養魚用・農業用以外の事業用の地下水のくみ上げ量の制限
- ・企業の商業利用に厳しい制限をかける
- ・市として本気に取り込まないと水がなくなるので使用企業から税金をもらう。（水利用税とか）
- ・「大切だから汚さない」という思想が抜けていることが大問題。水を汚さないための学習機会を！
- ・トイレ・風呂の水を雨水使用で下水に流すと地下水を使わなくて済む
- ・事業用の地下水のくみ上げ量の規制
- ・地下水を使用して商品にしている企業にたくさんお

- 金を払ってもらって水の保全しせつを作る
- ・河川（梓川含む）よりの取水
 - ・地下水を使用している商品売上の一部を地下水保全活動に寄付出来るような仕組み。
 - ・企業による地下水汲み上げの実態調査と規制
 - ・企業誘致をやめること
 - ・地下水を使う企業の制限

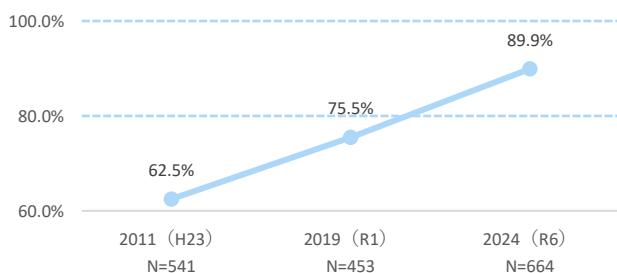
Q10【1つだけ選択】あなたの家庭では、普段から節水に取り組んでいますか？

項 目	回答数	割 合
1 取り組んでいる	597	89.9%
2 取り組んでいない	67	10.1%
合 計	664	100.0%



家庭での節水の取り組み

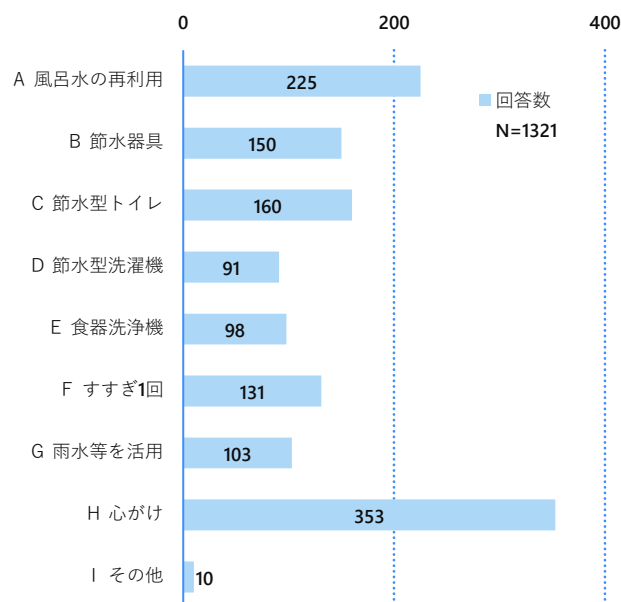
くらべる！



家庭で節水に取り組んでいる人の割合の推移

（取り組んでいる人のみ）どのような取り組みをしていますか？

項 目	回答数	割 合
A 風呂水の再利用	225	17.0%
B 風呂・シャワーの節水器具	150	11.4%
C 節水型トイレ	160	12.1%
D 節水型洗濯機	91	6.9%
E 食器洗浄機	98	7.4%
F すすぎ1回の洗濯洗剤	131	9.9%
G 散水・畑に雨水等を活用	103	7.8%
H 水道水の無駄をなくす心がけ	353	26.7%
I その他	10	0.8%
合 計	1321	100.0%



節水の取り組み方法

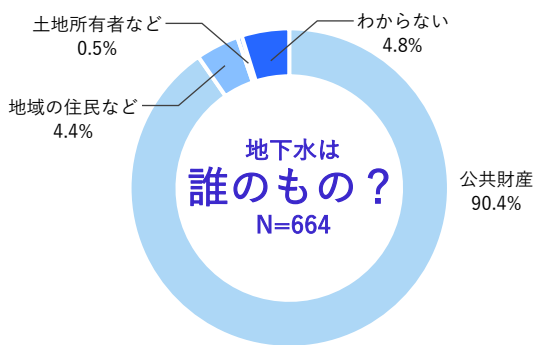
【I その他】

- ・温泉スタンドの活用
- ・畑や庭には農業用の水をつかっている
- ・家への入口の上水道のバルブを半開きにして家へ入る水を少なくする。
- ・無農薬・無肥料の農業。水だけ又は純石鹼による洗い物。

- ・川の水利用
- ・屋根から雨水をタンクに入れ外回りに使う。500L
- ・水は腐るから節水はしない、料金節約のために節水する。

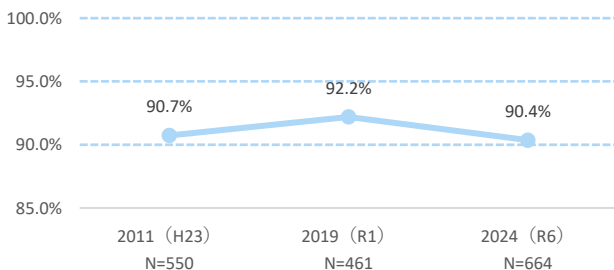
Q11【1つだけ選択】地下水は誰のものだと思いますか？

項 目	回答数	割 合
1 みんなの共有財産で公のもの	600	90.4%
2 地域の住民や企業のもの	29	4.4%
3 地下水を汲み上げている土地の所有者や、汲み上げた人のもの	3	0.5%
4 わからない	32	4.8%
合 計	664	100.0%



地下水は誰のものだと思うか

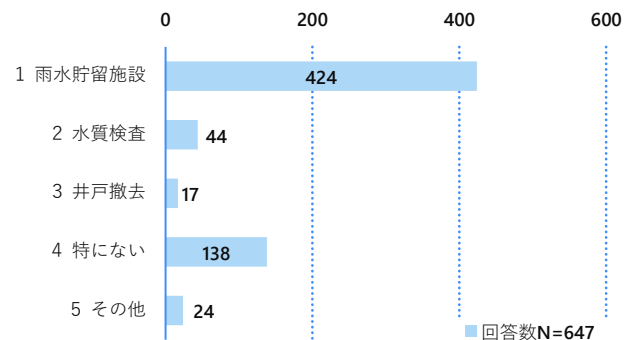
くらべる！



地下水を公共財産だと思う人の割合の推移

Q12【1つだけ選択】地下水を保全するために、各家庭に対する補助制度としてあるとよいのはどれですか？

項 目	回答数	割 合
1 雨水貯留施設（雨水タンクなど）設置費用への補助金	424	65.5%
2 井戸水を飲むことができるか知るための水質検査費用への補助金	44	6.8%
3 井戸を撤去する費用への補助金	17	2.6%
4 特にない	138	21.3%
5 その他	24	3.7%
合 計	647	100.0%



補助制度の要望

【5 その他】

- ・敷地内に雨水を地下浸透できるようにする。
- ・休耕田の水はり
- ・アンケート設問の意図がわからない。
- ・雨水を飲料水や生活用水として使える濾過装置設置
- ・分かりません
- ・雨水貯留施設の無償設置
- ・井戸の揚水ポンプ設置等への補助金
- ・もっと簡単な雨水貯留施設の開発と設置の推進
- ・工業農業用の水を地下の美しい水は使わず水道水または再利用できる仕組みを
- ・節水の基準を設け、達成した家庭に水道料金を割引く仕組みをつくる
- ・食器洗浄機など身近な節水機器購入用の補助金
- ・節水機器取り付けの補助

- ・ 1. と同じかもしれないが雨水は地下へもどす。
- ・ 純石鹸での洗たくや食器洗い等費用補助、利用方法や製品情報の周知とセットで
- ・ 補助金は不要と思う。社会全体の責任だと思う。
- ・ 水道料金が低い場合にはポイントがついて商品が買えるしくみやそのポイントで次月の水道料金を安くする制度
- ・ 家の配管が古くサビが出るので水を流す時間が多くなってしまっているので配管取替工事の補助金
- ・ 井戸のポンプを新しくする為の補助（個人の）
- ・ 浄化槽の地下浸透をやめる。川の水をくみ上げて散水するポンプ購入補助
- ・ わからない
- ・ 休耕田に水を入れたり、稲作を再開(他農家への委託含めた土地所有者への補助金、税金の減額等
- ・ 水田や畑を作っている農家へ補助金を出す
- ・ 節水器具導入への補助

Q13 地下水の保全や活用に向けて、ご提案やご意見がありましたらご記入ください。

- ・ 地下水は安曇野の誇るべき財産。未来に続く対策を願いたい。
- ・ 毎日、何台もの大型トレーラーで地下水が搬送される様子を見ると、次世代に飲料水、地元産業に必要な水量が確保できるか心配です。商業目的での地下水は規制すべきです。地下水を汲み上げている個人や企業の「地下水採取量報告書」の報告書は自主報告ですか。それ共、企業への立入検査等行なわれているのですか？
- ・ 私の住んでいるアパートは築 30 年以上、入居にあたり水質検査をしてもらった人がよくないとのこと。私は 2 階なのですが、水はあづみの水ということで安心していましたが、水道管が古いのではないかと思います。昔、田淵館の横の水処でくんだ水がくさくて県外から汲んで帰った人から苦情がありました。今、時々開運堂の水をいただくのですが決して生水は飲みません。安曇野市の水が地下水とは～時々水道水が消毒のにおいがする時があります。
- ・ 各家庭で実行できる節水について事例等全戸に配布し、将来の地下水不足に対するきき感をアピールする。
- ・ 農業の企業化を進め、その企業に休耕田や遊休地を水保全のため有効利用出来るように取り組んでもらうというのはどうでしょうか。
- ・ PFAS についての調査、大丈夫でしょうか。
- ・ 農薬などで水質が悪化していると思われるので水質検査を重視してほしい。
- ・ 我家は水源池に遠くあるせいか夏はぬるま湯、冬は手も凍るような水道水です。なんとかしてもらえないものかと水道水を使うたびに思います。
- ・ 有明に水を販売している企業があると思いますが、以前から気になっています。あれは地下水ですか？家族もあれは是非書いてもらいたいと申しています。
- ・ 麦畑や休耕田にもっと水を入れる所を増やしていつでもよいと思います。森林や森、自然を壊していくことのないよう雨水がどんどん地面にしみ込んでいくような方法をお願いしたいですね。
- ・ 節水みんなさん一緒にー
- ・ 個人宅にいろいろ規制がかかるのは困ります。
- ・ 休耕田の水はり助成金。企業より水の販売（ペットボトル 1 本につき 1 円とか）売上金の一部
- ・ 今回、このようなアンケートをいただいて、安曇野の地下水について詳しく知ることができました。住んでいる私たちが大事な資源を守っていかれるよう、いただいた「知って、学んで、守ろう！安曇野の地下水」の資料を配布したり、イベントなどを通してもっと知ってもらえるようにするといいいのではないかと思います。とてもわかりやすい資料で、勉強になりました。
- ・ 企業の活用ありきでは地下水は守れないと思う。豊富にある水はいまある環境のために必要なものであり、企業レベルでの利用を続けていては環境全体に影響があるのではないと思われる。
- ・ 地下水は無限・永久の資源ではない。たかだか数 10 年のスパンで考えている。（自分を含め）
- ・ 井戸を利用するも良いが、電動機使用に費用が掛かる。ピロリキン等の駆除など管理がたいへん。
- ・ 地下水を汲み取る施設を保有する個人、企業、井戸などに上水道利用料と同等の税金を設けるべきです。水資源はタダではないという意識向上、不公平感の是正

に加え、税収入を原資に地下水保全の活動を加速してほしい。

- ・水がキレイでおいしいイメージだが、実際どうなのか...??と思う時があるので、データで見る事が出来ると安心。
- ・新しく企業を誘致する時は自然のことも考えて慎重をお願いします。
- ・麦や玉葱を作ったあと水を入れるところみをしているけど家の水田はせぎの尻にあるので、上でかけていると、水が少なくなり、水田にかけるのにやっとで麦刈り取り田にはかけられなかった。十ヶせぎのかけ口に行き水を上げようとしてもゴミがたまり、流してやっても下に泥がたまり、棒でつついても女手にはわずかししか流れなく苦労しました。かけ口の掃除してほしい。
- ・地下水を安全に活用する為の定期的な水質検査とデータの公表。子供達（次世代）に体験型の学習を通して水の大切さを伝えていくこと。イベント開催、魚のつかみどり、大王わさび農場内の川の中にはえている植物の見学。水を買っている企業より保全費として何%かを還元していただく（未来への投資として）。
- ・私が中学生位迄の生活用水は井戸水でした。屋敷周りの田に水が張られる夏場は井戸の水位はかなり上がり収穫が終り秋から冬場になると井戸の水はかなり下っていた事、夏場の水は美味しくなかったことも子供心に覚えてます。水道が引かれ楽になりました。ただこの時の父の一言”えらいことだ水にお金払うんだ”。今もその井戸維持管理して野菜作り等に使っている様です。
- ・企業の地下水のくみ上げを管理する。
- ・水道水が最近ニュースでどこかの県であったように、発ガンせいがないかどうか心配。
- ・世界の中では、日本では蛇口を捻るといつでも水が飲めるのに、ペットの水を買って飲む時代になり、洗車には水道水を無駄に使い残念です。水はもっと大切にしたいものです（小さい子供の時から教えたい）。
- ・1) 雨水タンクの活用。水道水を極力飲料水等生活用水以外に使用しない。2) 収穫後の麦作地に灌水する。この際の麦作地所有者の負担軽減の工夫が必要。
- ・この事を知らない人も多いと思う。もっと目につくよ

う伝え、みなで資源を大事に使う意識を高めていく必要を感じます。

- ・水田オーナー制度（地域の人や県外の人+企業にオーナーになってもらい田植え→収穫→米プレゼント。一年の体験を通して安曇野の良さを知ってもらう。）
- ・大量使用している企業（飲料水販売業）、大量使用者等からは使用料金の徴収等により雨水利用器補助又は山林セイビ費等に充てる。
- ・むずかしい問題
- ・下水道施設が出来ているのに未だつないでない家が多くあるのでなんとかならないものですか？
- ・地下水は大切な資源です。ただではないことを市民が知り、ある程度お金をとって守るべきだと思います。
- ・よく分からないので情報提供をお願いします。
- ・もう何年も前ですが、新しい水道管に工事で変えたところ、水が少しも冷たくなってがっかりしたのを覚えています。地下水の良い所を少しでも失くさないように守っていければいいなと思います。
- ・大企業による大量汲み上げの規制
- ・今ある豊かな水をあたり前と思わずに全ての人がそれを大切にしていける安曇野であってほしい。
- ・安曇野市も含め長野県全体で森林の保護育成に力を入れたらと思う。森林は恵の源と思う。
- ・小・中学校の学習に（体験も）力を入れる。
- ・あたりまえにあると思っている水についての意識改革が必要。そのために個人で出来る事、行政で出来る事、将来のために今からやって行かなければならない事を大きくアピールしていかなければと思う。実際、このアンケートが来なければ私自身も考える事がなかったと思う。
- ・状況の報告を市民に知らせ、意識を持たせる。
- ・地下水脈の把握→尻無川を利用したかん養→地下水の利用可能量の増、確保。
- ・安曇野市には水の会社があると思いますが、1本につき税を取り、そうする事により市がうるおうと思います。
- ・陸砂利採取、廃棄物処理事業、農薬の使用等にとまなう地下汚染の実態把握と地下水汚染の予防を、市として十分心がけてほしい。各地域や各家庭の事情にあった保全の仕方がある。我家では古い浅井戸の水（飲用

に向かない)を畑にまいて、水道水を節約している。雨が降れば水位が上り、大きな雨水タンクの役目を果たす。大雨のときは地下に水がたまらないよう水抜きし、地すべり対策にも役立てている。

- ・冬期でも田んぼに水を入れる。街路樹の樹をやたら切らないでほしい。車の通行にじゃまにならない樹を植える。公園にも家庭にも樹を植える。雨が降って地下水が増える。人間だけの自然ではない。除草剤も止めてほしい。
- ・国内外からの企業進出で安曇野ブランドのミネラルウォーターが製品化されているが、それは本当に必要な事で安曇野市に何かメリットはあるのか？一企業の利益ではなく、昔から安曇野に根付いている農業や養魚用を大切にすべきではないか。宅地開発もどんどん進みアスファルト・コンクリート化されすぎて景観だけでなく地下水にも大きな影響をあたえていて心配
- ・安曇野の水はおいしいと他県などから遊びに来た人々から言われます。でも、その地下水も山に雪が少なくなり地下にしみて行く量もかぎられそうです。水を売り物にしたり工業でつかったりしていますが、これから20年30年この状態がつづくのか心配です。100年先のことも考えて行かなければいけないと思います。
- ・企業(汲み上げている)に汲上げ量に対して賦課金の徴収をする。
- ・地下水の保全・活用を含めて積極的に広報した方が効果があると思います。
- ・Pfasについて心配しています。安曇野市の状況(できればくわしく)知りたいです。
- ・Q11.人間だけのものではない。
- ・地下水利用の適正化
- ・地下水は、周辺地域も含め、全体の財産であると思います。従って規制を含め、地下水保全を積極的に推進すべきであると考えます。しかし、保全に取り組んでも、水量が減少したり、PFOSなど例もありますが、今後汚染されない保証はありません。今地下水があるから良いではなく、将来飲用としての量が確保できなくなることや汚染されて飲用できない場合も考え、今から対応を十分検討しておかなければいけないと思

います。

- ・私はよその土地からあずみ野に移住してきた。この地域は「水」の恩恵で観光客を誘致したり農業を盛んにできていると、よその土地の人間から見てつくづく思う。ぜひ水を大切にすべきだと思う。
- ・みえにくいもので状況を広報などで市民にしらせたり心がけることなど教えてほしい。
- ・小学校社会科の学習として取り入れていけるといいか。
- ・山や森林の貯水機能を守っていく為に、森林保全にも力を入れていく。広葉樹を増やす。山の手入れなど。
- ・中国などの外国勢力による水源の取得規制、排斥すべきです!!
- ・経済のことを考えれば企業誘致も必要かもしれないけど、安曇野が安曇野らしくあること、ここに暮らす人々が安心して生活できることを第一に考えてほしい。住民の命である水を住民のために守ってほしい。
- ・地下水をこれ以上くみ上げて売る会社をなくす事
- ・企業が、たくさんの地下水をくみ上げないでほしい。
- ・花壇、花鉢による水くれの雨水活用法の指導、補助
- ・安曇野市の必要な資源という認識を高める。
- ・あづみ野TVを活用、人々の目に留まる様、常時情報発信を!
- ・地下水の的確な利用をしないと。おいしい水が飲めることと、品質も安全であることが第一と思う。雨水の利用方法は、個人・企業でとりくむべきと思う。
- ・地下水の保全・活用については長期的な視点を持って取り組んでいただきたいので、市政方針が変わったり、市長が代わるたびに方策が変わることのないようにしていただきたい。(行政はとにかく短期的に施策が変わることが多いので、20年・30年くらい継続していただきたい。)
- ・大手企業の無制限な水の供給は、今後は少しでも規制すべきである。終日にわたり大型トレーラーで運搬している。交通体系にも影響しかねない。
- ・大人が現状を知る機会が少ない。
- ・農地の活用、宅地化しない取り組み。
- ・地下水を汲み上げ、飲料水として売っている企業に対して規制をかけて欲しい。
- ・資料がとても分かりやすかったです。是非一般の方や

小中高生、小児の子供たちにも周知をして頂きたいです。学校等へは訪問もとても良い機会だと思います。大切な地下水の役割と、我々の役割を今一度見直す大事な時期だと思います。行政の方々の活動に期待をします。宜しくお願いします。

- ・農薬を土壌にしみ込ませない。農薬や産廃汚水は安曇野のブランド力を低下させる。安曇野の宝を外国から来て外貨で買いとっていきたくない（法整備）。水の清さと北アルプスの恵みはセットで安曇野の財産、誇りであることを市（行政）は大切にすべき。待ったなし、早急な対策を。
- ・思いつかない!!
- ・私もこのアンケートに答えることになり、同封の冊子を読んで知ったことも多かったので、地下水のことを学ぶ機会を増やしていいのではないかと思います。（イベントの時にブースを作る）
- ・市民に金銭的な負担を強いることが無い範囲で保全に向けた取り組みを考えていくことは良いと思う。
- ・最近、田んぼや畑に水を入れているのを見かける事が増えました。とても良いと思います。どの程度効果があるのか知りたいです。県外出身者の自分は、安曇野市の水の豊かさ、きれいさ、とても好きなひとつです。せぎなどもあり、身近で親しみやすい水。長期的な視点では減少傾向にある地下水を、どうか早めの対策と市民や企業含め意識を高くもち量と質を守れるようとりくんで頂きたいです。ようちえん、学校、小さい頃からの教育現場でもぜひ学び、知る機会を作ってあげてください。
- ・節水に心がけたい。
- ・地下水には限界がある。使用制限を考える必要あり。
- ・農業用の合成肥料はコーティングされていて、そのコーティング剤が海に集まり汚染していることを最近知った。地下水にも影響がないか。地下水などは、今、PFAS が問題になっている。安曇野の水も安全性が心配なので、調査、公表してもらいたい。各家庭で、雨水は敷地内の地面に浸透させる設計にすることを義務付けるようにする。
- ・地下水を水道水として飲むことができることに感謝している。そしてこれからもそうあってほしいと願っている。地下水の保全について、より一層住民の関心

を高め、意識を向上させ、住民・事業者・行政が連携して取り組むことを期待している。

- ・地下水保全宣言の市として PR する。→各企業や個人ができることを行い、一定の決まりのもとでクーポン等でその成果を還元する仕組は面白いと思う。
- ・私は地方が長野県ではない為、地下水に関してこのアンケートで初めて知ったことが多かったです。移住してきた層への啓蒙活動にも力を入れていくべきかと思っています。
- ・市民 1 人 1 人が今を良しとしているのではなく、先々将来の子供達や生活・産業のために自分に出来ることを少しずつでも行い、それと共に行政として補助金などの募金集めなど意識改革が必要。CM などでも流すことにより、市民の意識変革を促す。
- ・川の水が豊富（きれい）である為、飲用への利用。工業用水は川の水で代用出来るところはないか（飲用以外で）。
- ・雨水タンクと洋式トイレの接続はどのようにされるのか又費用はどの位かかるのか。
- ・今回このアンケートに回答するのにあたり、普段あまり考えたことのなかった地下水についてよく考える機会をいただきました。同封の「安曇野の地下水」冊子は、わかりやすくまとめられていて、とても勉強になりました。今回は 1500 人を対象に・・・とのアンケートでしたが、定期的にこういったアンケートを行うことにより市民に水環境について興味関心を持ってもらえるのではないかと思います。安曇野の大切な観光資源にもなっていることなので皆で考えていけたらいいと思います。
- ・地下水が減少していること、減少すると生活にどのように影響があるかをもっと周知するようにした方がいい。
- ・自由すぎる開発に歯止めが必要。
- ・うすい知識しかなかった地下水について、このアンケートをきっかけに知りたい、学ぼうと思うようになった。雨水貯留施設への補助金の話は聞いた気がするなど、興味もわく気がする。
- ・昭和 60 年以後と以前とでは 3 倍のくみあげ量の増加となっている（p7 のデータより）。この増加分は一体何に使用されているのか。水道用以外であるから（黄

色のグラフ) 事業用と養魚用ということですか？市民生活に重大な障害がおきる前に早急に増大した事業用、養魚用の水量の規制を考えてほしい。市民への節水対策も必要かもしれませんが、そのレベルとは比較にならない大きな問題だと思えます。

- ・気候の変動が問題となっているが、北アルプスから流れてくる水の量も有限になってくるのではないかと考えられる。貴重な湧水の使い方を考えていくことが必要ではないか。一方、雨水の有効利用として雨水貯留施設の普及も災害時の水の補給として検討すべきと考えます。
- ・松本市や大町市にくらべて安曇野が水のまちと言う印象が少ない。地下水がおいしく飲める場所が少ない。家庭の水はおいしいですが・・・。
- ・庭や川、田んぼなど汚さないように気をつけようと思いました。安曇野の美味しい水道水を守りたいです。
- ・安曇野市で育ち、水に関することを学んで成長していれば多くのことが身につく良いのですが、転入してきた方々は(私も含め)知識がなく、節水、雨水活用などを知りません。今後も興味の出る情報の発信をお願いします。
- ・松本市のように大々的に「水の町」としてPRできれば、そのために必要な取水場などを整備すれば、湧水マップ等も作れて良いかと。それにともない、水を使った(たとえばそば等)食もPRしやすいかと。海外旅行が減っている現在、観光地として良いではないか。
- ・困っている時にみんなが安全に使えるようになるといいと思います。
- ・いつも北アルプスをみながら、今使っている水のありがたさを思っています。山に降る雪が少なくなっていることを思うと、これからこの豊かな安曇平はどうなってしまうのかと心配です。まだずっと先のことで私は生きていないのですが1人1人がずっと先のこの地域のことに関心をもっていくことが大切だと思います。
- ・災害協力井戸登録制度を行って災害時の水の確保を市民に情報として流してほしい。そうすることによる地下水を守る意識の向上に期待できると思う。『備える』重要性を市民に伝えてほしい!!
- ・情報開示

- ・地下水の保全・活用の必要性についての啓もう活動とか情報発信を行政サイドから積極的に行う。
- ・山梨県の人に言われたのだが、中国の企業に買われないうちに気をつけてと言われた。おそらく地下水目当ての企業だと思うが地下水の問題は日本の問題だと思います。
- ・安曇野わさび田湧水群を始めとして、観光名所としての名前が先走っていて、水の出所・認知度(地下水の事)が低い。アルプスとしての認識しか無かったので、安曇野としての認知度を上げる取り組みをした方が良いのではないかと。地元小学校レベルからの地下水学習の課外授業の組み込み等も認知度を上げる取り組みになる。
- ・1. 水販売業者の無制限採水をなくす。2. 砂礫の採取をやらせない。3. 水保全の為に砂礫層の保全も必要である。
- ・水はみんなのもの、大事に使っていきましょう。
- ・地下水をくみ上げている企業に対して制限するべきだと思います。一日どのくらいの量をくみ上げているのか心配になります。冊子の8ページに”安全性に気をつけて、定期的な水質検査などを心がけましょう”とありますが、定期的な水質検査は行政の仕事ではないのでしょうか？各家庭で行なうことは困難です。
- ・このアンケートに答えてみて、安曇野市の行政は地下水を預金通帳の中のお金のように捉えていると感じる。増えたら得、減らしたら損。だから増やそう！減らすな！Q11 地下水は誰のものだと思いますか？にそれが如実に現れている。地域の人の暮らしを支える貴重な資源になっている事に異論は無いが、地下水はお金ではない。増やせばお手柄というものではない。人が流すことは決して赦されない宝であり、美しいままでの世に送るべきものだ。と思います。
- ・黒沢川流域に畜産業が有り、地下水汚染浸透対策はしているが未だ不十分だと思われる。もっと行政指導をお願いしたい。
- ・安曇野市は自然環境に特長有り。自然を大切に過度な発展必要無し。
- ・地下水の保全には様々な利権がからみ、又条例などでの保護も必要になると考えるので、行政が中心となって保全をすすめていただければ良いと思います。

- ・各家庭で使う水道水や企業で生産に使用する水道水を出来るだけ節水していくよう市民、企業が心掛けている。
- ・安曇野全般の自然を大切に、親しめる、学べる、楽しめる施設、公園
- ・広報を利用し水の大切さをPRする。
- ・各家庭で節水にとり組む事はもちろんですが、水の会社がかみ上げている量には比較できません。地下水はいくらくみ上げていただなのでしょうか。納得できません。
- ・舗装工事は全て地下にしみる様にする。雨水を家庭で使うしくみを作る（飲水以外）。
- ・1. 休耕田に水を入れる対策を試験的に試みているようですが、農家に対して協力金の支給制度を創設するなどして、本格的に取り組めば地下水保全に大きく寄与すると思います。又、近年農地がどんどん宅地化されて耕作地が減少している田園都市安曇野市の現状を憂えています。2. 地下水が公のものである考えから、地下水を事業用や養魚用に利用している事業者（井戸を掘って地下水を組み上げている事業者に限定する）に対する課税(水道料的なもの)を検討する。
- ・私は松本の源池出身です。食事から、帰宅した時こぼれる井戸水をひしゃくで取り一気にのむおいしさ！！つめたさを知る者です。嫁して水の大切を口から聞いた事ありません。当たり前と思っている事や、個別住宅になり道路面に湧き水の景色もなくなり、さみしいですね。
- ・飲料として販売するために一部の企業が無尽蔵のように地下水をくみあげているのはおかしくないか？地下水のくみあげについては行政がもっと詳細にデータを取って公表すべき。
- ・特に思いつかない。
- ・地下水保全の条例を制定すること。（罰則適用可）
- ・Q9の3について。和式トイレを洋式トイレにすることによって節水になるなら是非そうしてもらいたい。家庭ではほとんど洋式トイレなので和式トイレを利用できない子どもが多く、給食のあとなどは洋式トイレの利用者が多く、並んで待っていて気の毒である。
- ・今回の資料で知っているようで知らない事がたくさんありました。節水はしているつもりでしたが、もっと心掛けたいと思いました。このように知れば気を付けようと思う人が増えていくと思います。これからの子供達、大人達の認知を広げる為に、学びの場を増やしていただければよいと思います。限りある資源を大切に使いいかれるように願います。
- ・地元民が（水）大切にする意識を高めるとともに、（水を使用している）企業にもっとお金を払ってもらい、地元の人たちがうるおう生活にしてほしい。県外からの高齢移住者が増えているが、そういう人たちはもっとお金を払ってもらって、もともとここで生まれ育った地元の人が損をすることのないような行政を目指してほしいです。
- ・今回のアンケートで「安曇野の地下水」を読み、改めて「水」について考える機会を与えられました。当り前に飲んでいる水も、被災地などで起きた水に関する被害を知る度に、我が身にも起こり得る恐しさを覚えます。ましてや、今現在、地球上のあらゆる場所で起きている自然環境の変化を考えると、一刻も早く地下水の保全や活用に向けて、多くの専門家の意見を取り入れ、その内容を地域住民個々が知る必要性があると感じています。
- ・安曇野といえばわさび、そばなど。自宅の水など普通に美味しいのが当たり前でした。観光の重要な資源の地下水の現状を知り、これから保全に向けて考えて行かなければ将来の安曇野市の地下水が保全されない。
- ・安曇野に休耕田が増えたなと思っています。我家も半分稲作りを止めてしまいました。何も作っていない田があります。休耕田で地下水保全になるような特産品を作れないかなと思います。コンバインなどの農業機械も購入や修理をすると高いので市でレンタルできたり補助があったらいいと思います。米作りは赤字の家庭、悩んでいる家庭が多いなと感じています。草だらけの安曇野の風景は嫌です…
- ・農林業をもっと大切に、自然保護。空き家対策：長い目でみて、空き家の増加、放置によって地下水の水質が悪化する可能性が心配
- ・安曇野のイメージとして豊かな水資源と言うイメージがあります。地下水は無限ではないと言うことを市民のひとりひとりが自覚して自分に出来ることを知りたいです。具体的に知りたいです。

- ・農業田んぼを作る。木を切らない。土地に水をためしんとうさせる。
- ・雨水を家庭でもだいじにする。
- ・特になし
- ・わさびを作っている人は湧水を使っているからと言うが、それはいかがなものかと思う。
- ・松本市の市街地にもいくつかの井戸があり、市民や観光客等利用しています。松本市はどのような保全活動をしているのか？同じような状況にないのか、他県の取組事例は？
- ・県内から永住地を選ぶに当り、水道水が地下水であることが最大のポイントとなりこの地となりました。この選択肢を持つ方が増えれば良いと考えます。
- ・「安曇野の地下水」を読んで、知らなことが多くありました。私と妻は千葉県から3年前に引越してきたのですが、まず感じたのは自然の豊かさと水の美味しさでした。安曇野の水の美味しさ（水道水）をもっとアピールすべきだと思います。私は風景写真を生業としていますので、千国街道沿いの水景色にいつも感動してカメラを向けています。
- ・地下水は飲料用のみとし、工業用使用は許可しない。市内総ての河川を利用して貯水池を準備して少しでも地下水の使用量を減らす。場合によっては松本市と提携。
- ・企業がくみ上げる地下水の量を大幅に減らす。
- ・早期に効果的涵養方法を策定し、活用していくことがベストと考えます。
- ・節水蛇口への取り替えに補助金を出していただけると家庭での節水が進むのではないかと思います。
- ・安曇野市を良くする活動をありがとうございます。
- ・地下水に関する情報や、保全のための取り組み方などを広く市民に知らせてほしい。
- ・私の住む地域では宅地開発が進んでおり、農地や空き地がコンクリートやアスファルトで覆われるようになっているように思います。今回の同封資料の内容等を広く知らせることで、宅地化の際に透水性舗装を選ぶようになると良いと思います。また、住宅の建設も多いので、太陽光発電だけでなく、雨水タンクも設置を促進したらどうでしょうか。私も知っていたら家を建てる時に設置したかったと思います。新築時のみならず、

- 補助金支給も有効かと思います。
- ・今回のアンケートを頂き、長野県に豊かな水資源の保全に関する条例があることを知りました。移住して数年経ちましたが、安曇野はお米も果物も野菜も畜産物も別格に美味しいです。今後、人口減少に伴い、土地価格の下落が進んだ時に水源地や農地が外資リゾートや外資系企業のターゲットとならないような条例、規制、PRが大事だと思います。祖先が苦勞して残した田畑に一度砂利を入れ、太陽光発電施設などになると元の田畑に戻すことは厳しいのではないのでしょうか。農耕地の早めの後継者への引き継ぎも大切だと思います。
- ・地下水の現状を知らない人が多いと思うため、PRしていく必要があること。原因は多岐に渡ることと考えられるので、様々な統計・分析に期待したい。
- ・エビアンやヴォルビックのように地下水を汲み取りすぎて生活地域の水が枯渇しないように保全して欲しい
- ・飲料水メーカーが地下水を大量に汲み上げているが、行政が規制すべき。
- ・地下水減少のそもそもの減少理由はなんですか？降雪量が減少していることも影響していますか？影響しているとしたら、地下水下流で対応して、効果はあるのでしょうか。
- ・保水森林の育成維持
- ・水田などの地下水保全に関して、ヨーロッパなどでは禁止されている除草剤グリホサート、人体に無害ではないと指摘されだした殺虫剤ネオニコチノイドなどの使用を禁止あるいは制限をしていく必要があるのではないのでしょうか。
- ・地下水保全と言いながら、松本糸魚川連絡道路を造るのはおかしいんじゃないかなと思う。道路工事によって地下水が減る危険性はないのですか？
- ・企業への取りすぎを注意する
- ・地下水が減少していることは時々知りますが、もっと学校で子供たちに学習する機会を与え、未来に向けて危機感をもって考えていける仕組みを作ったら良いと思います。また、地下水の減少度合いのデータや、地下水が家庭に届くまでの過程などを示したものを、水道料金徴収表と共に各家庭にポストインするなど、

強制的に目にする機会を作ってほしいと思います。

- ・業者による地下水の汲み上げに対して安曇野市は寛容過ぎでは無いだろうか？タダ同然で取られているのでは無いだろうか？県外の企業なのでその辺が心配です。
- ・安曇野全体で工業的に地下水を汲み上げる工場が増えている。地下水脈への影響を定期的に公開し規制の必要性などが住民でも判断できるようにしてほしい。
- ・地下水を汲み上げて、ミネラルウォーターを製造している企業への働きかけ
- ・地下水を吸い上げて売却する企業の活動を行政がコントロールすることの立法化と、企業が適正に利用しているかの監査機能の立ち上げと強化。
- ・地下水は、関係ある市町村と共同しての取り組みを、さらに強化徹底し取り組むことが緊急に必要な。
- ・地下水保全（涵養や水源となる森林保護など）のための資金に関して、ふるさと納税について提案があります。アニメやマンガを取り入れたふるさと納税を実施してみてはいかがでしょうか。具体的に作品名を挙げますと、TV アニメ「邪神ちゃんドロップキック」でふるさと納税でアニメーションを制作する企画が過去に北海道や九州の自治体で行われており、地元安曇野を全国にPRしつつ、ふるさと納税を行えるのでは無いかと考えております。安曇野の魅力を紹介するだけではなく、地下水の取り組みについても紹介ができれば様々な効果があるのではないかと考えます。私自身もその作品のクラウドファンディングに参加しており、一般的なアニメ作品と違い製作サイドの雰囲気堅くなく、距離が近いために新しい企画などを持ち込みやすいと考えます。ご検討いただければと思います。よろしくお願いいたします。
- ・小学生の時に浄水場の社会科見学等で水の大切さを勉強すると思います。地下水の大切さも今では教えてもらっていると思うのですが、やはり小中学生の時に勉強し、興味関心度を高めておく大人になってから大切な水、地下水に関して気にして生活するようになると思います。今からでも遅くはないので親世代が大切に守っていけば、子、孫世代へつなげていく気がします。
- ・特にないです。

- ・他人事と思わず、行政、企業、市民が、地下水は限りあるものと言う意識を持つこと。学校でも、地域ならではの教育を小学校や中学校で、学べたらと思います。
- ・地下水は季節により増減しているが、経年で現在どの程度変化があったか見える化し市民と共有したらどうか。地下水は市民および企業が未来に向け保全して行く必要性は理解する。安曇野市およびその周辺地域での地下水を利用した販売事業へは一定の取水制限（現在あるかは不明）が必要では。中信地区の水がめの利用、保全については近隣市町村と足並みがそれっていない様に感じる。一方、安曇野市の観光を考えると、松本市のように地下水を利用し各所に地下水が湧き出ている観光も考えては？
- ・地下水が減ってきていることを、もっと情報提供すべきだと思います。
- ・これから温暖化で夏がより暑くなることを考えると、砂漠化しないことが大事だと思います。例えば、学校の校庭を芝生化して、水撒きをすることで温度を下げるのができたり、山を裸にしないことが大事だと思う。山と里と街が近くで相互に関連・循環している事が重要だと思います。
- ・地下水を利用している企業に対して、地下水の過剰利用を防ぐため、税金等をかける。水田を作っている農家に補助金を出す。
- ・扇状地上流立地企業の排水及び地下水利用の実態調査
- ・地下水の汲み上げに規制を設けること。この資料のホチキス針を金属から紙にする。リサイクルには手間がかかる。アンケート協力者に負担をかけるには間違っている。
- ・企業が地下水を汲み上げて商品化して販売する行為には、厳しい規制が必要と考えます。世の中は規制緩和に進む事柄が多過ぎます。自然界から与えられた貴重な資源を将来を見据えて、もっと真剣に考えましょう。自分の代が良くても、子供、孫、その先の子孫の為に皆で考えましょう。
- ・水道料金の見直し
- ・地下水は誰の物でもないと思う
- ・大量に地下水を汲み上げている事業者や養魚者に対して、地下水の使用量に対する一定の割合で涵養を義務づける

務付けるなどの対策も必要だと思えます。

- ・水源となる高地の森林整備や産廃、工場の規制をもっと強化し、具体的にわかりやすく現在の情報開示をしてほしいです。水道代が都市部に比べてなぜ高いのでしょうか？我が家周辺エリアは下水道の普及率が少ないですが、水質には問題ないのでしょうか？
- ・自分は小学校で地下水についての勉強をしました。その中で雨水タンクを作り畑などに使用する水を確保する活動を一年間を通して行いました。その一年間はこれからの将来に役立つことだったので積極的にそのような教えの場を作っていって欲しいと思いました。
- ・たくさん地下水を汲み取り、他県に飲料水として販売する企業が増えている気がします。水不足が検討されるこの世の中、私たち住民が使える水を減らしてまで他県に販売し、お金にするのは少し未来が心配です。
- ・地下水保全の為に教育や研修、広報。各地区に保全のための活動した所に助成金。表彰。水源地の観察。
- ・安曇野（安曇平野）の豊富な地下水は、主に北アルプス山脈や東山を含める周囲の山々からの恵みである為、安曇野市を超えた周辺の山々の保全や管理の徹底が必要かと考える
- ・水を守るには山、森林の整備が大事だと聞きます。様々な視野からバランスよく考えることによって水の事だけでなく皆良くなっていくと思います。

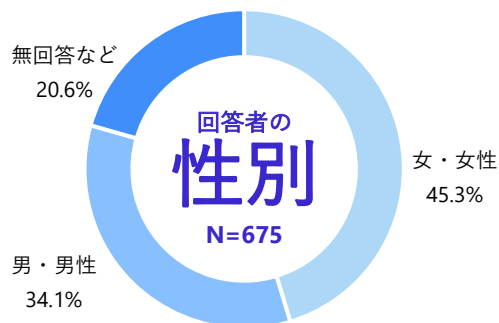
あなた自身について

次の設問に、さしつかえない範囲でお答えください。

Q14 あなたの性別をお答えください。（自由記述）

この設問は自由記述のため、事務局が記述内容を類型化して集計しました。（回答数の多い順）

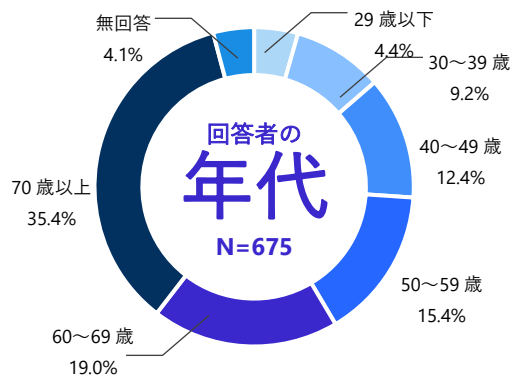
項 目	回答数	割 合
「女」「女性」と記載	306	45.3%
「男」「男性」と記載	230	34.1%
無回答など	139	20.6%
合 計	675	100.0%



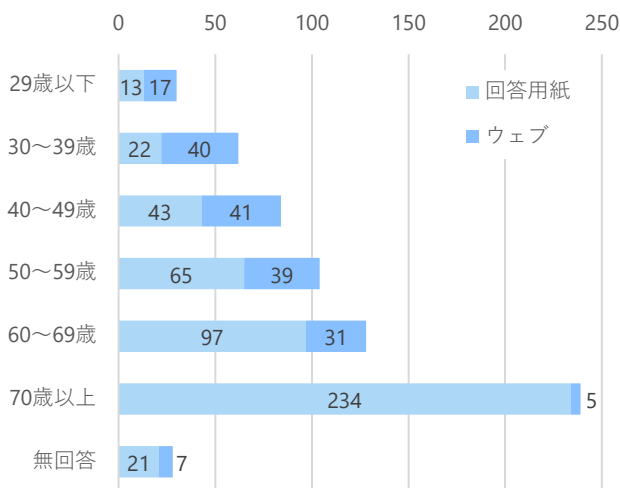
回答者の性別

Q15 あなたの年齢（年代）をお答えください。

項 目	回答数	割 合
29 歳以下	30	4.4%
30～39 歳	62	9.2%
40～49 歳	84	12.4%
50～59 歳	104	15.4%
60～69 歳	128	19.0%
70 歳以上	239	35.4%
無回答	28	4.1%
合 計	675	100.0%



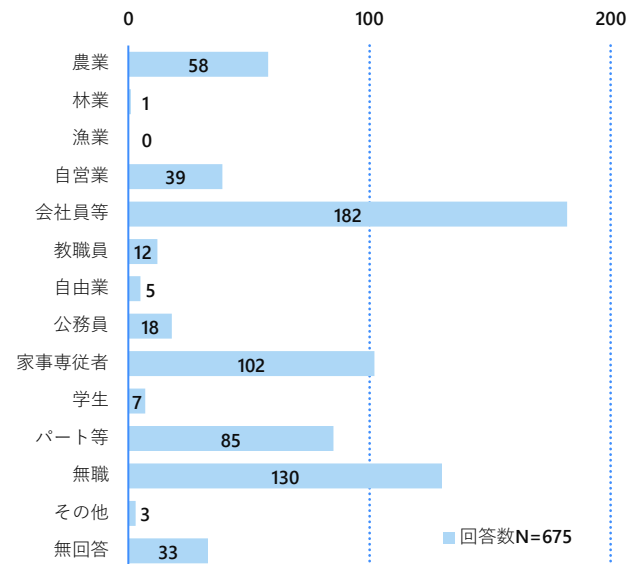
回答者の年代



回答者の年代と回答方法

Q16【主なものを1つだけ選択】あなたのご職業をお答えください。

項 目	回答数	割 合
農業	58	8.6%
林業	1	0.1%
漁業	0	0.0%
その他自営業	39	5.8%
会社員・役員、団体職員、契約社員等	182	27.0%
教職員	12	1.8%
自由業	5	0.7%
公務員	18	2.7%
家事専従者（しゅふ）	102	15.1%
学生	7	1.0%
パート・アルバイト	85	12.6%
無職	130	19.3%
その他	3	0.4%
無回答	33	4.9%
合 計	675	100.0%



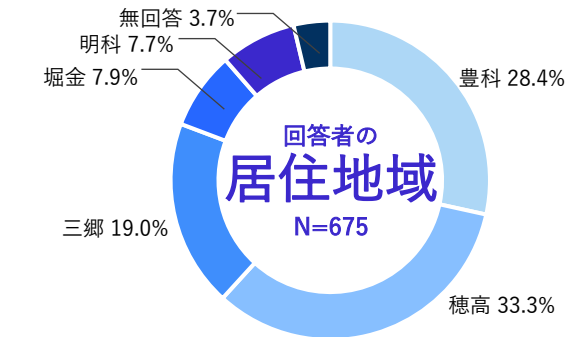
回答者の職業

【その他】

フリーカメラマン、医療従事者

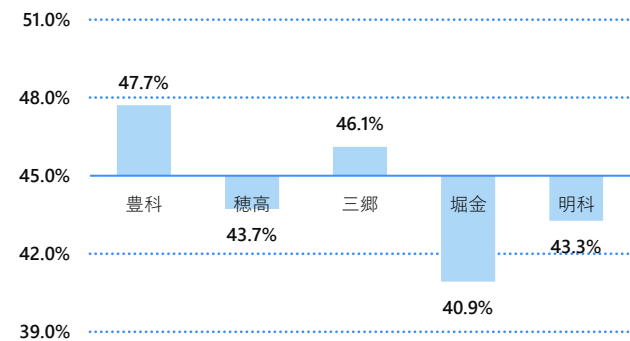
Q17 あなたのお住まいの地域をお答えください。

項 目	回答数	割 合	配布数
豊科	192	28.4%	417
穂高	225	33.3%	535
三郷	128	19.0%	288
堀金	53	7.9%	135
明科	52	7.7%	125
無回答	25	3.7%	—
合 計	675	100.0%	1500



回答者の居住地

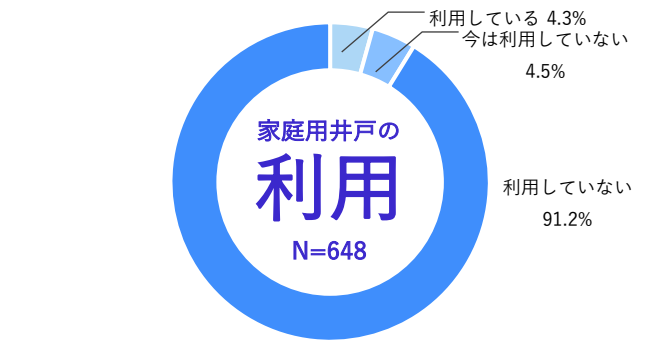
参考



居住地域別の回答率（全体の回答率（45.0%）との差、「無回答」は配布数に応じて按分してあります。）

Q18【1つだけ選択】あなたは家庭用として井戸の水を利用していますか？

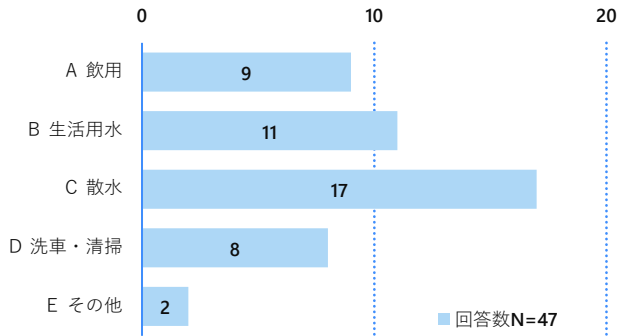
項 目	回答数	割 合
1 利用している	28	4.3%
2 以前は利用していたが今は利用していない	29	4.5%
3 利用していない	591	91.2%
合 計	648	100.0%



家庭用井戸の利用

（利用している人のみ）【複数選択可】どのような用途で利用していますか？

項 目	回答数	割 合
A 飲用	9	19.1%
B 生活用水（風呂、トイレ、手洗い、野菜洗いなど）	11	23.4%
C 庭や畑への散水	17	36.2%
D 洗車・清掃など	8	17.0%
E その他	2	4.3%
合 計	47	100.0%



現在利用している家庭用井戸の用途

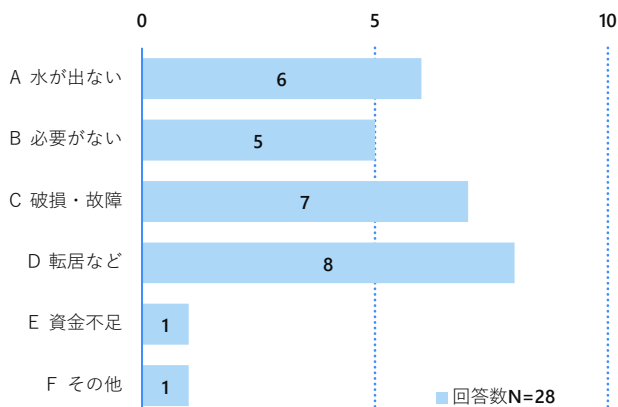
【E その他】

民営の水道施設の水を利用、災害時対策として保全

(以前は利用していたが今は利用していない人のみ)

【主なものを 1 つだけ選択】利用しなくなった主な理由は何ですか？

項 目	回答数	割 合
A 水が出なくなった	6	21.4%
B 必要がなくなった	5	17.9%
C 井戸の破損・ポンプの故障	7	25.0%
D 転居・建替えなど	8	28.6%
E 維持のための資金不足	1	3.6%
F その他	1	3.6%
合 計	28	100.0%



家庭用井戸を利用しなくなった理由

【F その他】

ピロリ菌で病気になりたくないから

地下水保全のための市民アンケート結果報告書

発行 2024 年 12 月 4 日

安曇野市 市民生活部 環境課
長野県安曇野市豊科 6000 番地